

お客様各位



製品回収・交換に関する通知書

エムエスエイジャパン株式会社
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田
3丁目30番16号
Horizon 1ビル 2階

日付：2011年8月4日

Phone 03-3209-2171
Fax 03-5291-8755
info@msajapan.com
www.msajapan.com

オートマックスレギュレータ回転継手に関して

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

MSA空気呼吸器用オートマックスレギュレータの回転継手部に關しまして、ヨーロッパでごく稀に破損が発生したと言う報告を受け、調査を行いました。回転継手は、右写真の矢印が示すオートマックスレギュレータと中圧ホースの接続部になります。



回転継手部の破損は非常に稀な事例であり、現状での発生率は0.005%ほどです。確率は非常に低いものですが、使用者の皆様にご危険が及ぶ可能性があるため、MSAでは対象製品のホースアセンブリ(回転継手・中圧ホース)を回収し、無償交換を実施致します。

交換対象品は、下記(写真左)のような回転継手が黒いプラスチック製の製品になります。(シルバーの金属製回転継手の場合、交換の必要はございません。)



交換対象品(黒い回転継手)



交換対象外(金属回転継手)

シルバーの金属製回転継手(写真右)は、長い間、MSA製空気呼吸器で使用されてきたものであり、破損等の事例は一切報告されておりませんので、そのままご使用頂けます。

弊社で行った検証に関して

対象品の回転継手を下記写真のように治具に固定し、上から衝撃を加えることで、破損が再現されました。



ただし、通常の使用時において、この状況が起こる可能性は非常に低いものです。その理由としましては、以下3つの理由が挙げられます。

1. 通常の使用時においては、衝撃を受けた時に回転継手が回転して衝撃を鈍らせるため。
2. 通常の使用時では、レギュレータが面体に取り付けられた状態であり、面体ゴムの弾力性が衝撃を吸収し、鈍らせるため。
3. 装着者の頭部が衝撃で後方に押され、衝撃を鈍らせるため。

ごく僅かな可能性ではありますが、通常の使用時に破損が起こり得るとすれば、保管または運搬時などに回転継手が衝撃を受け、完全には破損せず、亀裂を負った状態になっている場合があります。

結論としましては、レギュレータを落下させてしまった場合やドアに挟みこんでしまった場合またはどこかに強打したような場合には、亀裂等の損傷を受けていないことを確認する必要があります。

ホースアセンブリ(回転継手・中圧ホース)を交換するまでの対応策

使用前に毎回、以下の手順に従って、製品が既に亀裂等の損傷を受けていないことを確認して下さい。

右写真のように、オートマックスレギュレータを片手で持ち、親指を回転継手にあてがいます。次にもう一方の手でホースかしめ部を持ち、親指をあてがいます。親指を支点にして、回転継手を曲げるように負荷を掛け、回転継手が破損しないことを確認して下さい。弊社で検証した結果、損傷を受けていない回転継手は、一般的な手の力では破損致しません。交換までの間、この事前検査を毎回行うことで、安全に製品を使用することができます。



ホース交換に関する連絡先


交換をご希望の際には、「空気呼吸器の種類」、「必要数量」をご確認の上、下記エムエスエイジャパン・カスタマーサービス係またはエムエスエイジャパン担当営業員、販売代理店までご連絡お願い致します。

交換対象製品が使用されている空気呼吸器一覧

1	空気呼吸器 エアマックス SL用オートマックスレギュレーター
2	空気呼吸器 エアマックス用オートマックスレギュレーター
3	空気呼吸器 エアゴープロ SL用オートマックスレギュレーター
4	空気呼吸器 エアゴープロ用オートマックスレギュレーター
5	空気呼吸器 BD96用オートマックスレギュレーター
6	空気呼吸器オプション バディマスク用オートマックスレギュレーター

<連絡先>

エムエスエイジャパン株式会社 カスタマーサービス係

 **0120-092-185**

この度は、皆様に多大なご迷惑、ご心配をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。
お客様が安心してお使い頂けるよう、社員一同、製品の品質向上に誠心誠意努めていく所存でございますので、今後とも一層のお引き立てを賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

敬具